

MESSAGE FROM  
GRADUATES

## 卒業生からのメッセージ

保健医療学部 鍼灸学科

症状が良くなり、  
笑顔になってもらえるよう勉強する日々。

はり師・きゅう師

株式会社 マーサメディカル 勤務

東京都立練馬高校(東京都) 出身  
[ 2019年卒業 ]

小泉 誠さん



憧れの鍼灸師を目指して  
経験豊かな先生方に導かれた4年間。

東京有明医療大学のことは友達に紹介され知りました。知ったときにはオープンキャンパスが終わっていたので、個別で学校見学に行きました。その際に、先生方から外部指導の先生や授業内容・カリキュラムのことを聞き、ここでなら他の学校よりも鍼灸師として成長ができ、国家試験にも合格することができると思ったので入学を決めました。実際、授業でわからないことがあった時も先生や先輩に相談をしに行きやすく、楽しい学校生活を送ることができました。

鍼灸師としての基礎だけでなく  
治療家としての基礎を学んだ大切な場所。

現在は鍼灸院に勤め、トリガーポイント治療をメインに行っています。多い時は1日100本も鍼を打つこともあります。また、勤務先はスポーツ外傷に強いので、多くのチームにトレーナーとして帯同し、スポーツをしている小学生から大人まで治療しています。大学は探求心や行動力など治療家としての基礎を学んだ大切な場所です。僕は、今でも先生方と連絡を取ったり、何かあれば大学に行って相談したりしています。そのくらい頼りになる大学は少ないです。

施術直後から感動していただける  
美容鍼技術と一流のホスピタリティを求めて。

はり師・きゅう師

麻布ハリーク 勤務

駒澤大学高等学校(東京都) 出身  
[ 2020年卒業 ]

岸田 友梨香さん

授業の密度から生まれる  
未来への道しるべ。

東京有明医療大学を知ったきっかけは、多くの大学が集まるイベントで職員の方から鍼灸の魅力聞いたことが始まりです。鍼灸師としての知識はゼロで入学しましたが、先生方のサポートと同級生のお陰で資格を取得することができました。夜10時頃まで友達と切磋琢磨しながら勉強したことが印象に残っています。国家試験の対策授業では、先生方が重要なところを科目ごとにまとめてくれるため、試験前も混乱することなく確認を行うことができました。

お客様の美と健康に生涯にわたり寄り添い、  
トータルサポートできる鍼灸師を目指す。

学生時代、治療院を10箇所以上見学しました。満足感・高級感のある雰囲気サロンに憧れ、今は美容鍼サロンに勤めています。美容の技術だけではなく、長野式治療法、接客マナーなど多くを学べ、今後に活かせると思い決めました。施術はもちろんですが、お客様がご来店されてからお帰りになるまで責任をもって対応しています。大変なこともあります。それよりも喜んで下さる方の笑顔が支えになります。それが1番のやりがいだと私は感じています。

保健医療学部 柔道整復学科

志を高く、熱意と夢をもって。  
世の中に必要とされ、信頼される人材に。

柔道整復師

株式会社 コスモシーブ/やなが整骨院

福岡県立朝倉高等学校(福岡県) 出身  
[ 2014年卒業 ]

矢永 大悟さん



父親の背中を見て選んだ道。  
信頼される柔道整復師を目指したい。

柔道整復師として地域医療に貢献している父の姿を幼い頃からみてきて、父の背中を追いかけるように専門学校を探している際に東京有明医療大学の存在を知り、父を超えるにはこしかならないと思い入学を考えました。オープンキャンパスで受けた講義で、柔道整復師に必要な勉強・国家試験に受かるまでのプロセス、大学生生活のビジョンがぼんやりですがイメージでき、それまでいつか目指す夢であったものが明確に歩いていく道として見え、意識が変わりました。

実際の医療現場でしか得られない知識が、  
現在の私の生活に生きています。

27歳の時に個人で独立開業し、その後株式会社を発足しました。日々、骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷(肉離れなど)に対する治療を行い、地域医療に貢献しています。また、スポーツ現場での救護活動なども行っています。昨今、柔道整復師の資格を持つ方は非常に多く、大変厳しい世界です。しかし、東京有明医療大学での授業は国家試験の内容を超えたものも多く、患者様に信頼される柔道整復師になれる技術・知識を十分に得られる大学です。



憧れの先生との出逢いで大きく広がった  
医療人としての「心構え」と「世界感」。

柔道整復師を目指し養成校を探している中で、東京有明医療大学を知りました。参加したオープンキャンパスで直感的に「ここで学びたい」と感じたのと、大学は研究機関であるため資格取得を超えた勉強ができると思い、入学を決めました。4年間で最も熱中したことはゼミ活動です。担当教員との出会いで私の世界は大きく広がりました。目標を定め、今やるべきこと何かを考えることの重要性や物事の本質を捉えて自分自身と対話し、実行する力を学びました。

内心の声に耳を傾け、  
柔道整復師としての道を歩む。

柔道整復師・機能訓練指導員

株式会社 TSUBOMATSU  
友部接骨院/友部接骨院併設リハビリデイサービス 勤務

水城高校(茨城県) 出身  
[ 2018年卒業 ]

坪松 真央さん

柔道整復師は開業権を持ち、  
自分が主人公として働ける仕事です。

整形外科や大学院進学など、進路は非常に悩みました。自分はどういう人間として、どんな人生を送りたいかを考えた時に、「父の考えや治療技術を継承したい」と柔道整復師を目指した原点に戻り、接骨院とリハビリデイの会社を経営する実家で、経験を積みながら会社経営まで学ぶ覚悟を決めました。現在は1日の中で接骨院とリハビリデイの二足の草鞋を履き、さらに、現場業務と同時に取締役として、役所への連絡調整や経理事務も担当しています。

MESSAGE FROM  
GRADUATES

## 卒業生からのメッセージ

保健医療学部 付帯教育

スポーツを行う全ての人を  
支えられる存在に。

アスレティックトレーナー・鍼灸師

医療法人社団BODHI  
Dr.KAKUKOスポーツクリニック 勤務

岐阜県立大垣東高等学校(岐阜県) 出身  
[2015年卒業]

中江 梓さん

鍼灸師とアスレティックトレーナー。  
2つの資格取得を実現。

小学生から打ち込んできたバドミントンで、高校最後の大事なタイミングに足関節捻挫をしていました。復帰は出来たものの、周りに頼る人がおらず不安な時に「怪我をした人の役に立てるトレーナーになりたい!」という思いが芽生えました。そこからトレーナーについて調べ、国家資格である鍼灸師の免許も取得できること、四年制大学であること、またオープンキャンパスに参加した際に教員との距離が近かったことに魅力を感じ、東京有明医療大学を選びました。



医療人としての知識はもちろんのこと、  
人としての接し方を学ぶことが出来た4年間。

「鍼灸師は鍼灸院で勤務する」という考えが基本的かもしれませんが、私はまずは外傷・障害に関する知識を身につけたいと思い、整形外科を志望しました。現在、鍼灸治療のほか、体外衝撃波等を用いた物理療法、ストレッチやトレーニングを希望する患者様に運動指導といった多くの業務を担当しています。様々な人と関わりますが、どんな方に対しても柔軟に対応出来ているのは、アットホームな大学で人との接し方を学ぶことが出来たからだと思っています。

スポーツ現場で培った経験を  
一般の医療にも提供していく。

アスレティックトレーナー・柔道整復師

有限会社トレーナー・アローズ 勤務

豊島学院高等学校(東京都) 出身  
[2016年卒業]

織原 秀藏さん

決して楽ではない4年間は  
他では経験のできない濃厚な時間になる。

東京有明医療大学を知ったきっかけは地元の先輩が通っていたことです。その先輩に誘われてオープンキャンパスに行った時、少人数の授業が多いと聞き、自分の学びたいことを深く学べると感じたことから入学を決めました。小学校から高校まで野球中心の生活をしてきた私には、アスレティックトレーナーの資格が取れることも大きな理由でした。入学後は資格を取得する為に勉強に打ち込みました。特に4年生の時は朝から晩まで大学にいた記憶があります。

同じ目標を持った仲間と過ごした日々は  
社会に出てからの大きな力に。

現在は勤務先からの派遣というかたちで主に明治大学野球部で活動をしています。具体的には、選手の体調管理、アスレティックリハビリテーション、トレーニング指導を行っています。チームの活動がない時は、整骨院で管理柔道整復師として働いています。悩んだ時や迷った時などに話せる同志のような仲間、信頼できる師のような先生と大学で出会えた経験が、仕事をしていても人とのつながりを大切にしている精神につながっています。

看護学部 看護学科

患者さんのために、  
科学的根拠のある看護ケアを深めたい。

看護師

東京大学医学部附属病院 循環器内科 勤務

東京都立文京高等学校(東京都) 出身  
[2018年卒業]

森 由稀さん



4年間を通じて行われた、  
東大病院実習が確かな力に。

東京有明医療大学を知ったきっかけは、予備校の講師からの評判がよく、志望校の1つとして提案されたことです。実習先が東京大学医学部附属病院であること、少人数制で最新の情報や技術を取り入れたカリキュラムを構築していることなどが魅力に感じました。大学時代で一番記憶に残っているのはやはり病院実習です。慣れない環境の中、知らない知識や技術ばかりで、毎日必死に夜遅くまで課題に取り組み、勉強していたことを覚えています。

看護師は、経験を積んでいく中で  
楽しさややりがいを見出すことができる仕事。

現在、東京大学医学部附属病院の循環器内科に勤務しています。東大病院の「みて、触れて、考える」看護を実習で実感しました。患者さんを尊重し、確かな知識・技術・判断に裏付けられた看護を実践する姿を目の当たりにし、私も同じチームの一員として働きたいと思ったことが理由です。院内での勉強会は充実しており、学び育つためのサポート体制がしっかりしています。看護師だけでなく、どの職業の人も向上心が強く、成長していける環境です。

「支えあう関係性」こそが  
産業保健分野における医療。

保健師

富士通(株)健康推進本部 健康支援室 勤務

千葉県立国分高等学校(千葉県) 出身  
[2015年卒業]

小村 義人さん

大学は「頑張り」を認め、  
大きく支援してくれる場所。

高校生の時、将来看護師になりたいという意思はありましたが、具体的にどのような看護師・保健師になりたいかまでイメージすることができていませんでした。しかし東京有明医療大学で学び、講義やグループワーク、演習や実習など様々な教育を通して、医療職に必要な専門的な知識を習得でき、自分が将来どのような医療者になりたいのか、じっくり考えることができました。

いろんな人で支えあって  
健康で働けるように支援したい

卒業後3年間、循環器内科の病棟看護師として勤務しました。そこで様々な方の看護をしましたが、ふと、そもそも病気にならないように予防する支援ができないかと思い、保健師になろうと思いました。その中でも働いている人の健康保持増進活動をしたいという思いで、現在の職場を選びました。仕事内容としては会社で働く従業員の健康管理の業務をしています。また、会社全体で健康経営施策に取り組んでおり、組織全体に対して集団支援を行っています。